

授業概要

アメリカとイギリスを中心とする英語圏の国の歴史・社会・文化を、文学や映画やニュースなどを通して具体的に考察する。二つの英語圏の大国の歴史の流れにそって、少数派の文化も含め、その各時代の多様な文化の特質を把握してゆく。また、それと同時に、適宜、ネイティブ・スピーカーの人を交えた講演会を実施したり、機会があれば近隣の異文化に関わる施設(NPO法人・異文化交流会)なども訪問する。英語圏の多様な文化や異文化コミュニケーションへの基礎的土台を養成できるように講義する。

授業計画

第 1 回	導入—英語圏文化とは何か(世界の文化の多様性についての現状と課題の説明)
第 2 回	シェイクスピアの文学—『テンペスト』における先住民と新大陸のイメージ
第 3 回	ピューリタン文化の形成—ヨーロッパ宗教革命と独立戦争(宗教文化の多様性について)
第 4 回	先住民問題 —『ポカホンタス』に見る「インディアン捕囚体験記」と異文化遭遇 (アメリカ最初期の異文化コミュニケーションの実例について考える)
第 5 回	西部開拓と明白なる使命 —『ポウリング・フォー・コロムバイン』に見る米国銃社会
第 6 回	アメリカへの移民問題—自由のアメリカのイメージの形成
第 7 回	英米帝国主義下での奴隷制度—リンカーンと南北戦争
第 8 回	ヴィクトリア朝イギリスの文学—R.L.スティーヴンソン、H.G.ウェルズ
第 9 回	世紀転換期の科学—英米におけるダーウィンの進化論・フロイトの精神分析
第 10 回	イギリスの言語教育の物語について—『ピグマリオン』『マイ・フェア・レディ』
第 11 回	戦争の考察 —二つの世界大戦・湾岸戦争・イラク戦争(世界の文化の多様性と武力衝突を考える)
第 12 回	東西冷戦の文化—赤狩りと核兵器の脅威とベトナム戦争(世界の多様性と武力衝突を考える)
第 13 回	公民権運動—女性・黒人の歴史(マイノリティの抵抗と世界の文化の多様性への希求)
第 14 回	アメリカの大統領選挙—望まれる大統領とは何か(多様性ある世界実現への課題)
第 15 回	総論 多文化共生の時代に—外部講師のネイティブ・スピーカーを交えた異文化体験交流会 (異文化コミュニケーションの現状と課題を考える)
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・学生が英語圏の多様な文化や社会や歴史について学ぶことで、より深い次元での多文化の他者との交流や相互理解をすることができる。
- ・学生が異文化間のコミュニケーションの現状と課題について学習し、中学校及び高等学校における外国語科の授業の異文化理解に役立てることができる。

履修上の注意

楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。授業時にはコメントペーパーを配布するので、授業の終わりにできるだけ多く質問や感想や意見を書いて提出すること。多くの資料を配布するのでファイルを持参のこと。普段から関心をもって本を読むように心がけてもらいたい。

予習・復習

前もって配布した資料は事前に予習として必ず読み、授業後に再度読み直すこと。また、興味をもった作品は、自分で自発的に読んでもらいたい。

評価方法

学期末試験(60%)、提出物および授業中の発表や発言(40%)などの総合評価。

テキスト

毎回授業で資料を配布、また参考文献については適宜指定する。